

令和7年度地震・津波防災訓練 (高知県安芸市・内閣府)

実施報告書 (概要版)

高知県安芸市について

- 高知県安芸市は、高知県の東部に位置し、南は東西約19kmの海岸線が土佐湾に面している。北部は徳島県に接する。
人口は令和7年3月時点で15,377人である。
- 安芸山地から土佐湾にかけての山稜と海岸線の低地と海岸段丘からなる。温暖で日照時間の長い気候を活かし、ナスやユズなどの農業が盛ん。岩崎弥太郎の出身地としても知られる。
- 市内の中学2年生を対象に、隔年で避難所開設運営訓練、医療救護所開設運営訓練を実施している。

主な被害想定

- 最大クラスの南海トラフ地震が発生した場合、市内の最大震度7、沿岸部に最大約15mの津波が到達することが予測されている。
- 安芸川、伊尾木川河口が高波で閉塞しやすく、津波発生時には遡上にも注意が必要で、下流部は液状化現象が発生する可能性がある。
- 市街地への主な出入り口は国道55号のみで、孤立状態となる可能性がある。



訓練概要

- 訓練想定：大地震の発生及び大津波警報の発表。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和7年12月8日（木）11:00～12:50
【地震・津波防災訓練】令和7年12月14日（日）9:00～12:00
【訓練実施後WS】 令和7年12月14日（日）12:00～12:30
- 主催：安芸市
- アドバイザー：高知大学地域協働学部防災推進センター 大槻知史教授
- 参加者数：90名
- 参加機関：安芸市立安芸中学校生徒、地域住民、自主防災組織、陸上自衛隊
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所運営訓練、炊き出し訓練
- 訓練の特色：災害時の避難拠点としての機能を備えて令和6年4月に開校した安芸中学校で、中学生主体の避難所運営訓練を行い、新たに作成した避難所運営マニュアルの内容を検証し、改善点を抽出する。
参加者向けに、事前に防災教育ツール「さすけなぶる」を使用した避難所運営の問題解決ワークショップを実施し、発災直後だけでなく長期的に避難者の生活拠点としての利用イメージを持つ。

訓練の成果

【成果】

- 地域の避難拠点としての機能を備えて新設された安芸中学校において、実動訓練を実施することで避難所運営マニュアルの検証の機会となり、具体的な改善事項が抽出された。
- 学校、市関係者、自主防災組織の顔合わせの機会となり、マニュアルの改善、災害時の対応方針に関する意見を交換し、共有することができた。
- 避難所の運営は中学生にとって難易度が高い取り組みであったが、真剣に取り組み、実施後に建設的な意見を出していた。
- 最大約800人を収容する規模の避難所が、災害発生時にどのような状況となるのか、中学生が避難生活をイメージする機会となった。

【課題】

- 災害時に施設管理者となる学校側との役割分担をあらかじめ明確にしておく必要がある。
- 中学生が訓練に参加する場合には、事前説明や事前準備の時間を十分に確保する必要がある。

12月8日(月) 11:00～12:50 訓練実施前ワークショップ

- 過去の災害で起こったこと、揺れ対策や津波対策避難所開設までに起こることを講義した。
- 防災教育ツール「さすけなぶる」を使用して、避難所生活が長期化した場合に起こる問題について考えた。

▼大槻アドバイザーによる講義



▼生徒同士で議論



12月14日(日) 9:00～12:00 地震・津波防災訓練

- 各教室でシェイクアウト訓練を実施後、体育館への避難を実施した。
- 中学生が4班に分かれて、自主防災組織のメンバー等の指示のもと、避難所の設置準備・運営訓練を実施した。
- 陸上自衛隊が炊き出し訓練を実施し、訓練後には中学生が実際に試食した。

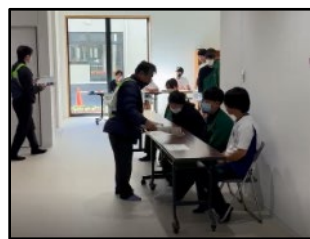
▼体育館への避難



▼施設の状況を確認する中学生



▼避難カード準備



▼テントやラインコントロールの組み立て



▼避難所の受付



▼情報伝達・総務班の情報伝達



12月14日(日) 12:00～12:30 訓練実施後ワークショップ

- 訓練の振り返りを実施し、避難所運営マニュアルに反映した。
- 情報伝達にて混乱が生じたため、独立した班ではなく各班に情報伝達担当を置くと良いといった意見が挙がった。

▼振り返りを行う参加者



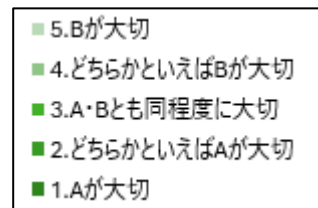
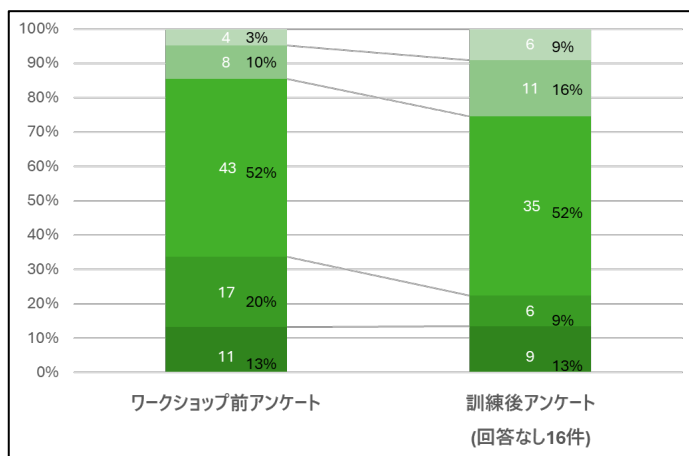
アンケート結果

回答数:84

事業の前後で、参加者の意識がどのように変わったのか検証するアンケートを実施した。

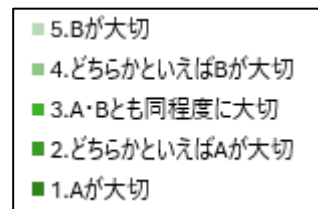
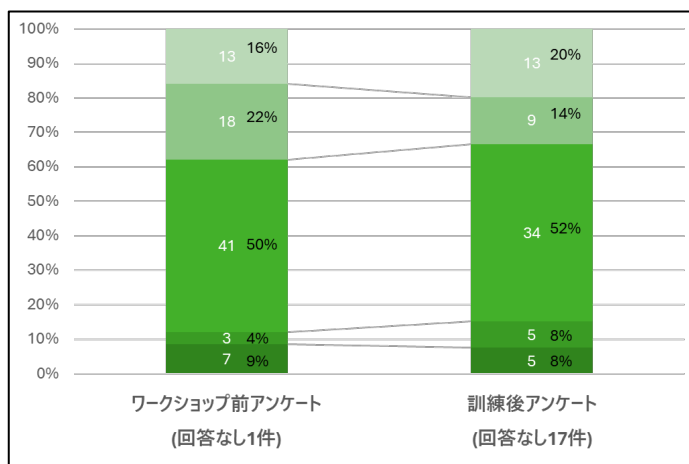
1. あなたが避難後に避難所のお手伝いをするとして、大切なのはどちらの観点だと思いますか。各質問についてあなたの実感に近いものに○をつけてください。

A.避難所の秩序を守ること / B.避難者個人の意思を尊重すること



2. あなたが災害後に避難所をお手伝いをするとして、大切なのはどちらの観点だと思いますか。各質問についてあなたの今の実感に近いものに○をつけてください。

A.規則や手順を守ること / B.状況にあわせた対応をすること



3. あなたが災害後に避難所をお手伝いをするとして、大切なのはどちらの観点だと思いますか。各質問についてあなたの今の実感に近いものに○をつけてください。

A.避難者の公平性を保つこと / B.より困っている避難者を優先すること

